

# 令和6年度「未来の技能者育成事業」体験授業実施結果報告書

2024.12.25(水)

事業コード	24-G-06	学校名	高山市立山王小学校		住所	高山市片野町6丁目400番地
実施日	9月11日(水)13:00~15:15			受講児童生徒数	86名(6年生86名)	
開講職種数	6職種	指導者数	9名	参観保護者数	0名	

## 学校アンケートの結果

- 1 体験授業全体を通して、満足していただける内容となりましたか
- ①多くの児童生徒が、講話に傾聴し、積極的にものづくり活動に取り組むなど、大変満足できる内容であった
- 4 貴校の児童生徒が将来技能者を目指すに当たった課題や、ご意見があればお聞かせください
- ・モノづくりの素晴らしさ、技のすごさは、十分に感じているのですが、それ故、自分と遠い存在になっているように思います。技能者の姿が身近に、見えるようなシステムが多くあればよいと思います。  
・児童にとっては、技能者を自分の将来の夢にして技能者として生きていくということがイメージしにくいと感じます。今回のような貴重な機会をきっかけに、どんな仕事があるのか、生きるために働くとはどういうことかといった職業観を育てていきたいと思いました。  
・モノづくりを体験すると、誰もが「楽しい」「面白い」と感じるようです。でも、それと自分の職と考えるかは、距離があるようです。モノづくりの種類や技能者への道筋が広く示されると、技能者という職が近くなるのかなと思いました。  
・こうした体験活動の機会を増やすことが必要だと思います。  
・どんな仕事があるのかをそもそも知らないで、こうした体験をする機会が継続的にあるとよいと思う。  
・まだ将来就きたい職業については、考えていない児童もいるので、様々な体験をしたり、お話を聞くことで、考えるきっかけにしていきたいと思っています。

## 会場担当教員アンケートの結果（6会場の先生）

- 1 この体験授業にて児童生徒にもものづくりの魅力や意義が伝わったと思いますか
- |             |   |   |            |   |  |
|-------------|---|---|------------|---|--|
| ①大変よく伝わった   | → | 6 | ②ある程度伝わった  | → |  |
| ③あまり伝わらなかった | → |   | ④全く伝わらなかった | → |  |
- 2 児童生徒の皆さんが技能者を目指すに当たった課題と思われることを自由にお書きください
- ・モノづくりの素晴らしさ、技のすごさは、十分に感じているのですが、それ故、自分と遠い存在になっているように思います。技能者の姿が身近に、見えるようなシステムが多くあればよいと思います。(和裁会場)  
・児童にとっては、技能者を自分の将来の夢にして技能者として生きていくということがイメージしにくいと感じます。今回のような貴重な機会をきっかけに、どんな仕事があるのか、生きるために働くとはどういうことかといった職業観を育てていきたいと思いました。(家具製作会場)  
・モノづくりを体験すると、誰もが「楽しい」「面白い」と感じるようです。でも、それと自分の職と考えるかは、距離があるようです。モノづくりの種類や技能者への道筋が広く示されると、技能者という職が近くなるのかなと思いました。(畳製作会場)  
・こうした体験活動の機会を増やすことが必要だと思います。(貴金属装身具製作会場)  
・どんな仕事があるのかをそもそも知らないで、こうした体験をする機会が継続的にあるとよいと思う。(印章彫刻会場)  
・まだ将来就きたい職業については、考えていない児童もいるので、様々な体験をしたり、お話を聞くことで、考えるきっかけにしていきたいと思っています。(フラワー装飾会場)

## 指導者アンケートの結果（6職種の各代表）

- 1 今回の授業は指導者として満足できる内容になったと思いますか
- ①多くの児童生徒が、講話に傾聴し、積極的にものづくり活動に取り組むなど、大変満足できる内容であった 

6
- ②興味関心を示さない児童生徒も少しはいたが、概ね満足できる内容であった
- ③興味関心を示さない児童生徒が多く、あまり満足できる内容ではなかった
- ④ほとんどの児童生徒が興味関心を示さず、まったく満足できる内容ではなかった
- 2 今後の業界における人材育成の課題についてお聞かせください。また、その課題の解決に関して、この体験授業の中でさらなる要望がありましたら、お聞かせください

・和裁という職業を知ってもらい、日本の伝統や衣装・装束を知ってもらうことができることは大変嬉しいと思います。礼装とは第1礼装が留袖、喪服という5つ紋の話や振袖ということ、それだけでも知ってもらえたらと思います。浴衣の着付はいつも皆さん喜んで嬉しそう顔をされており、これも授業があるから出来ることだと思うと、少しでもそういう体験が将来の職業に就ききっかけにもなるといいなと思います。(和裁職種)

・この様な事業は大変意義があると思われれます。現在の児童・生徒達は親がどんな仕事をしているかすら興味がない様に思います。当事業を通じて、モノを作る喜びを知り、将来技能士として活躍されることを願っています。(家具製作職種)

・職人の世界に若い人材が入ってこない、後継者不足の原因のひとつに労働環境の悪さが挙げられますが、昨今の情勢から鑑みますと改善の方向へ向かうと思われれます。そうなりますと、若い方が職人を目指すきっかけとして、子供の頃からものづくりの楽しさを教えるこのような授業が大変有意義で大切になると思います。(畳製作職種)

・AIという言葉が昨今よく耳にしますが、AIだけでは世の中回っていかないとします。人間の感性はAIには無理ではないかと思っています。人材育成事業の指導者はそれぞれ感性を持っておられ、職人の頭の中は色々な知恵(感性)が入っています。そのような職人の感性に触れることができるこの事業をもっと広めて欲しいです。子供たちにこんな世界もあることを知らせたいです。(貴金属装身具製作職種)

・私の職業に関して言えば、重要な役目を果たすハンコは認証の具である。人生の節目には書類にハンコを押す。その押印した書類が正しいと認めることの「アカシ」としてハンコが存在するし、その文章には責任を持たなければならない。よって責任ある言動ができる大人になることの一助となるかもしれない。(印章彫刻職種)

・今回小学生に体験授業を実施できたこと、とても良かったです。お花を通して仕事の喜びや魅力を伝えることができました。そして、興味も示してもらいました。(フラワー装飾職種)

・岐阜県の委託事業として体験授業が実現できることは素晴らしいと思います。今後の後継者につなげるためにも事業の継続と、拡充を願います。そして、授業の内容を充実したものにするために、材料費の値上げも考慮いただきたいです。(フラワー装飾職種)



## 家具製作会場の様子



### 先生の感想

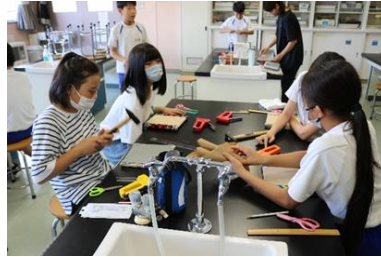
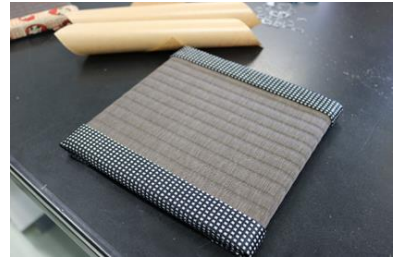
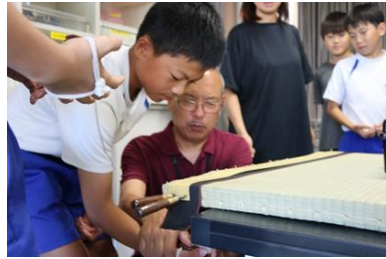
- ・普段目にする事のない職人さんの作業風景の動画を見せていただいたり、技術に関わる歴史についても教えていただいたりと、児童の理解を深めるのに十分な内容の講話をしていただきました。穏やかな講師の語りと視覚的な資料で、木がスポンジのように曲がる様に児童は驚き、職人の技術が長い時間かけて熟成されてきたことを感じる事ができました。
- ・職人さんがこれまでに積み上げてきた技術や、使う人のことを考えて家具製作を丁寧にやる姿勢を知り、児童は尊敬の念を抱き、片付けなどを自主的に手伝う姿がありました。
- ・製作体験では、安全な作業となるように十分に配慮していただき、児童は安心して製作に向かうことができました。一人一人が職人の技術を体験する貴重な機会となり、出来上がった曲木を使った花台を児童は嬉しそうに持ち帰っていきました。
- ・身近に職人がいない児童にとっては、新鮮な講話や体験であったことは間違いありませんが、職人さんの職業観や生き方を聞いて自分に投影して考えることは、小学校6年生段階の児童にとっては難しいかもしれないと感じました。職人としての生き方を伝える、職種についての興味喚起の機会とするなど、明確な目的を準備段階から打ち合わせておくとともに児童にとって有意義になったかと思えます。

### 児童生徒の感想

- ・木を曲げる技術を考えて人がトーネットというドイツ人だったことが印象に残った。
- ・木をお湯で蒸らして柔らかくしてから曲げるというお話が印象に残った。
- ・木を曲げるときに思ったより力があることが印象に残っていることと、完成したときにお手本みたいに出たので嬉しかった。
- ・どんな木でも曲げ木は作れるのかということを知りたかった。乾燥しても折れないし戻らないのが不思議だった。
- ・曲げ木で円を作ってみたい。円のインテリアを見てみたい。
- ・宇次原さんも水谷さんも分かりやすく話してくれたのでありがたかった。
- ・木は色々な工夫で自由に組み立てられることが分かった。



## 畳製作会場の様子



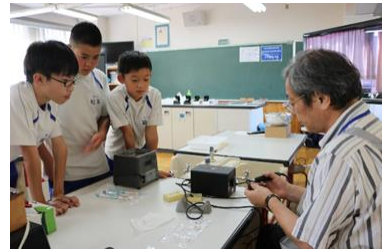
### 先生の感想

- ・マイスターの先生は、仕事そのものだけでなく、生き方や考え方、仕事への思いを丁寧に話して下さい、子どもたちは興味をもって聞き入っていた。
- ・ミニ畳の芯材に畳表とヘリを貼る体験をさせていただいたので、工法を理解納得し、「おお〜と感動の声が上がった。
- ・ミニ畳の製作では、多くの畳表の色、ヘリの色や模様の中から、気に入るものを自分で選ばせてもらい、各自お気に入りの作品ができた。
- ・用具を一人に1つずつ用意していただくことができ、自分のペースで製作できた。
- ・人の生き方とつながって、仕事への思いを話していただき、自分の人生観をもつことを手助けしてくれる講話だったと思う。実際の製作を見ることが実際に体験することで、職人さんへの尊敬への思いを高め、モノづくりのすばらしさと楽しさを感じることができた。身近にある畳に対し、愛着をもつことができたようだった。

### 児童生徒の感想

- ・初めて畳を作ってみて、難しかったけど楽しかった。畳作りを体験して、畳をたくさん作っている松井さんや松葉さんがとてもすごいと思った。
- ・畳作りは色々大変だったけど、作ってみると面白くなったりして楽しかった。忙しい中来ていただいて、すごいミニ畳が出来た。次はもっと大きい畳作りに挑戦してみたい。
- ・ホチキスを打つところで、ずれないようにするのが大変だったけど、キレイにできて良かった。
- ・畳が良い役割を果たしていることがよく分かった。
- ・製作実演のときに使った針が大きくてびっくりした。畳の国内生産量を見ると、年々減ってきているけど、将来私たちが大人になるころ、どうなっているのか気になった。
- ・小さい畳を作るのに40〜50分ほどかかったけど、職人の方々はもっと大きい畳を2〜3時間で作れることがすごいと思った。
- ・畳作りはやっていくうちにだんだん楽しくなったり、家族もすごいと言ってくれてとても嬉しかった。
- ・自分好みの柄や色を並べて、好きな畳を作れて嬉しかった。
- ・もっと職人の方のいつも作っているサイズで、いくつも作っているところを見たかった。

## 貴金属装身具製作会場の様子



### 先生の感想

- ・マイスターのお話では、細かな作業における苦労や実物を提示していただくことで、児童は興味をもって聞いていた。
- ・体験活動では、個別に指導していただき、児童は集中して製作に取り組んでいた。
- ・完成した後、家族にプレゼントしたいと思う児童もいて、ここでの体験が思いやりの心の育成にもつながることを期待したい。
- ・高山市では経験できない体験活動に取り組めたことは、児童にとって貴重な体験になったと思います。今後もそうした視点で企画していただけるとありがたいです。

### 児童生徒の感想

- ・金属を削るとピカピカになったのでびっくりした。
- ・上下さんが作った鶴とトンボの作品がとても印象に残った。
- ・材料が作られるまでに何回も叩いて、伸ばして、丸くしたりする工程が必要だということがすごかった。指輪を作るときは始めに丸める作業が大変だった。
- ・最初はどんなことをするか分からなかったけど、上下さんの作品を見た瞬間、それに取り込まれるような感覚になった。1つ1つこまめに切っていてすごく大変そうだったけど、上下さんが楽しそうにやっていてすごかった。
- ・指輪の大きさが大きくなってしまったりして難しかったけど、上下さんが優しく教えてくれてとても嬉しかった。
- ・上下さんの話がとても分かりやすかったし、すごく細かい作業がいっぱいあってすごかった。
- ・指輪を作るのに半年や3年ぐらいかかるものもあるということが分かった。
- ・本来見れない宝石を手で触れることができ、色々と新鮮な体験ができたので良かった。
- ・1つの作品にどれだけのお金をかけて作っているかを聞いたかった。
- ・最初は簡単だと思っていたけど、やってみると難しかった。

## 印章彫刻会場の様子



### 先生の感想

- ・講師の先生の講話内容が端的で、プリントなどを使い分かりやすかったため、集中が切れることなく製作作業に移ることができた。
- ・体験活動では、講師の先生の実演がなくても、彫り方のプリントやを見て作業を進めることができた。また、講師の先生が児童一人ひとりの作業を見て、「もう少し深く掘らないとハンコにならないよ」や「そこは、思い切って彫ってみよう」など、的確なアドバイスや頑張りを認める声掛けをいただき、子どもたちも興味をもって作業を続けることができた。
- ・質問時には、働くやりがいや大人になっても努力する大切さや面白さがあることを語ってくださり、最後に拍手がおきたことが印象的だった。
- ・講師の先生の人柄と印章彫刻に対する熱い思いが、先生の語りや雰囲気から伝わってきました。子どもたちも作業に集中し、質問も時間いっぱいまで続けました。また、子ども一人ひとりが彫る文字を事前に準備してきてくださっただけでなく、蠟石に書いてきてくださったことで、時間内に作業を終えることができました。ほんとうにありがとうございました。子どもたちが作業に入る際に、どうやって削ればよいのかわからない状況があったので、作業前に実演が少しでもあると良かったかもしれません。

### 児童生徒の感想

- ・11年かけて全国大会(技能グランプリ)でチャンピオンになるなんてすごいと思った。
- ・ハンコ作りは大変なこともあるけど、長年やり続けることが大切だということが分かった。
- ・彫るときに気をつけることや、朱肉の付け方やハンコの押し方がよく分かった。
- ・自分の名前じゃない文字も彫ってみたい。
- ・盛光先生が親を亡くしてから40年間も頑張ってきたということが印象に残った。
- ・文字を彫刻刀で彫るのがとても難しかった。でも押すのがうまく出来たので良かった。
- ・やってみるととても難しくて、盛光さんはこれを毎日やっていると思うとすごいなと思った。
- ・盛光さんがハンコをどうやって彫っているのかを見てみたかった。



## フラワー装飾会場の様子



### 先生の感想

・講師の先生方のお話の中に、「同じ花でもそれぞれちがう素敵なアレンジメントができた。」と話していただいた。自分の思いを表現することは、これからの教育活動でも大切になると感じました。

・花を見る機会は多くあるけれど、花束を作る様子やアレンジメントする様子をゼロから間近で見ることが初めての児童がほとんどだった。実際に説明をして頂きながら、完成に近づいていく様子を目をキラキラさせながら見ていた児童が多かった。先生の作品ができたときは、自然と拍手がわき、素敵な時間だった。

・体験活動では、時間が経つのがあっという間に感じるという児童が多く、積極的に取り組む姿が見られた。

・準備していただいたメッセージカードには、大切な人に向けて感謝の言葉を書いていた。作ったアレンジメントを大事に袋の中に入れて、持ち帰っていった。

・本当に子どもたちに優しく教えていただきありがとうございました。貴重な時間を本当にありがとうございました。普段のお仕事の内容がわかる写真なども見せていただけると、子どもたちにとって、更なる理解の助けになったと思います。

この日の貴重な経験が、子どもたちの心に刻まれることを期待したい。

### 児童生徒の感想

・今回はアレンジメントをやったけど、花束もきれいでかわいかったので、花束も作ってみたい。

・講師の先生の実演をみたとき、早いのにキレイに完成しているのすごいと思った。

・アレンジメントは自由に楽しく出来たし、花の種類もたくさんあって、先生に教えてもらいながらきれいな仕上がりになった。

・季節ごとのお花の特徴を教えていただけたら1年中飾れるなと思った。

・スパイラルやループができるようになるまでどれだけかかるのか聞きたかった。

・製作実演のとき、先生が花を束にするときに葉っぱを入れることで花を引き立ててくれるということがよく分かった。

・お花を自分の好きなように差していくのがとても楽しかった。花の茎の長さや、差す位置が違うだけで色々な表現を花が造り出してくれるのが印象に残った。

・教えてもらったようにしたら、すごく上手にできて嬉しかった。花束を作ってみたい。

・お花の数はどれくらいの種類があるかや、今回はオアシスを使ったけど普通のスポンジなどでも出来るのかなどが気になった。お花の仕事をしている方の考えなどが聞けたのでとても良かった。